

北海道・札幌のコンビニ分布

氏名:上野早穂 小林透馬 鈴木きはは 辻和成 八柳希 山田晃太郎
(市立札幌旭丘高等学校/班名:お金好きの集まり)

研究の概要

全国、北海道、札幌市それぞれの2021年までのコンビニの店舗数と事業所の分布を集計し、札幌、北海道のコンビニ分布の特徴と傾向を全国のコンビニ分布と比較・分析した結果、北海道・札幌では世帯数の影響が弱く、事業所数の影響が強かった。

テーマ設定の理由

北海道のローカルコンビニとして北海道No.1シェアを誇るセイコーマートには、他のコンビニ会社とは違った出店傾向がある。そこで、セイコーマートの出店傾向には北海道特有のコンビニ分布傾向があると考え、研究を行った。

仮説

- ・北海道と札幌では、人口と世帯数との相関と影響が弱い
- ・北海道と札幌では、事業所数との相関と影響が強い

研究方法

下記の各種地図アプリ、政府による調査、webサイトから各都道府県、札幌市(区ごと)、北海道(振興局ごと)の事業所数、コンビニ店舗数のデータを入手し、表とグラフを用いてそれぞれの関係性を比較・考察する。

研究内容・結果

| | 人口 | 世帯数 | 事業所 |
|-----|---------|---------|---------|
| 札幌市 | 0.00060 | 0.00104 | 0.00910 |
| 北海道 | 0.00060 | 0.00114 | 0.01160 |
| 全国 | 0.00068 | 0.00200 | 0.00860 |

上:回帰係数の表

| | 人口 | 世帯数 | 事業所 |
|-----|---------|---------|---------|
| 札幌市 | 0.97417 | 0.98241 | 0.98387 |
| 北海道 | 0.93595 | 0.94405 | 0.98590 |
| 全国 | 0.99994 | 0.99777 | 0.96644 |

下:回帰係数の表

* 回帰係数… それぞれのデータとの差が最も小さくなるように引いた直線(回帰直線)の傾き。そのデータがもう一方のデータにどれくらい影響されるかを示す。

* 相関係数… 2つのデータがどれくらい関係しているかを示す値。-1~1の範囲で示され、1に近いほど正の相関が、-1に近いほど負の相関があるとされ、0に近ければ相関がないと判断される。

考察

相関係数の面では、全国と比較して北海道・札幌特有の特徴は見られなかった。しかし回帰係数の面では、北海道・札幌において人口と世帯数がコンビニ分布に及ぼす影響が小さかった。また、北海道全域でのみ事業所数の影響が強く、札幌のみに絞った場合では全国と変わりなかった。今後の研究では、各都道府県ごとの相関や影響と比較したり、別の要因との関連を探るなどして北海道・札幌のコンビニ分布特有の特徴を探りたい。

出典

・総務省統計局 令和元年経済センサス-基礎調査結果
・経済産業省,e-stat,商業動態統計調査参考表(年報)第1表
コンビニエンス・ストア販売,2023年6月15日現在
https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&stat_infid=000040065060

・グーグルマップ,2023年10月27日現在
<https://www.google.co.jp/maps/@43.057152,141.3218304,12z?entry=ttu>

・ナビタイム,2023年10月17日現在
<https://www.navitime.co.jp/>

・e-stat,住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00200241>